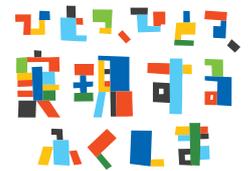


第38号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
令和5年2月発行

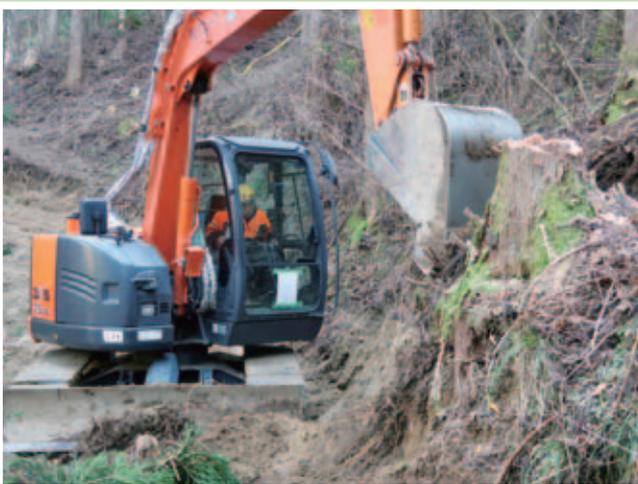
ふくしま 林業 労働力確保支援 センターだより



チェーンソー伐倒研修【緑の雇用FW集合研修事業】



森林の仕事現場見学【緑の雇用マッチング支援事業】



路網整備と作業システム【林業アカデミーふくしま短期研修講座】



林業就業支援講習(12日間)【林業就業支援事業】

目次

改善措置実施状況報告書にみる事業者の現状……	2	森林・林業担い手育成事業の実施……	10
令和4年度「緑の雇用」事業について……	3	森林の仕事エリアガイダンス・マッチング支援 ……	12
林業就業支援講習(12日間)を開催……	6	林業雇用改善推進会議について……	13
雇用管理研修会・雇用管理改善相談会を開催……	7	令和5年認定事業者現場作業員採用計画……	14
林業アカデミーふくしま短期研修講座の実施……	8	福島県認定事業者一覧表(流域別) ……	15
新人講師養成研修を開催……	9	福島県認定事業者位置図(流域別) ……	16

改善措置実施状況報告書にみる事業体の現状

改善措置実施状況報告書は、雇用管理の改善や事業の合理化についての改善計画を認定された事業体が各年度の実施状況を事業年度の終了後3か月を超えない日までに、当支援センターに報告をいただくものです。支援センターでは、いただいた報告の内容を元に、改善措置の進捗状況や課題等を分析し、その後の雇用管理の改善の助言等に役立てています。今回は、平成29年度と今年度を対比しながら、認定事業体の現状を紹介します。

(1) 認定事業体数

改善計画が認定されている事業体数は、今年度報告数が82事業体で、29年度から3事業体の増となっています。管内別では、県北6、県中11、県南17、会津13、南会津8、相双15、いわき12となっており、県北・会津・相双で増加しました。

支援センターでは、事業体に対する改善計画の策定支援や事業の合理化と雇用管理改善に関するアドバイス等をおして、林業就業者の育成・定着に取り組んでいます。

管内区分	H29	R 4
県北	4	6
県中	12	11
県南	18	17
会津	10	13
南会津	9	8
相双	12	15
いわき	14	12
計	79	82

(2) 現場作業員の管内別、常用・臨時／その他別人数

管内区分	常用		臨時／その他		計	
	H29	R 4	H29	R 4	H29	R 4
県北	96	(109%) 105	9	(11%) 1	105	(101%) 106
県中	167	(107%) 178	65	(37%) 24	232	(87%) 202
県南	182	(85%) 155	10	(140%) 14	192	(88%) 169
会津	107	(109%) 117	48	(50%) 24	155	(91%) 141
南会津	83	(82%) 68	19	(179%) 34	102	(100%) 102
相双	82	(120%) 98	21	(100%) 21	103	(116%) 119
いわき	145	(72%) 105	12	(100%) 12	157	(75%) 117
計	862	(96%) 826	184	(71%) 130	1,046	(91%) 956

現場作業員数を比較すると、少ない管内は、事業体が少ない県北（106人）、南会津（102人）です。一方、多い管内は、県中（202人）、県南（169人）となっています。

また、29年度の作業員数と比べ、相双では116%と大きく増加し、いわきでは75%と大きく減少しています。

全体では、常用826人、臨時その他が130人、合計で956人であり、29年度比では、常用96%、臨時・その他71%、合計で91%と減少しており、就業者の確保・育成が重要な課題であることが明確になっています。

なお、臨時・その他の割合は、29年度に比べ減少しています。

注 ()書きはH29に対する増減率

(3) 管内別、森林組合・民間事業体別新規採用者数

新規採用数の合計は97人で、29年度と比べて7人、6.7%の減少となっています。

この中では、県中（27人）の採用者数が比較的多くなっています。

占有率では、民間事業体が高い管内は県南（92%）、相双（75%）、いわき（89%）で、逆に森林組合が高い管内は南会津（83%）となっています。

全体では29年度に比べ新規採用者は減少したため、雇用の安定的確保に向けた取り組みを進める必要があります。

支援センターでは、新規就業希望者に対して、「森林の仕事エリアガイダンス」、「マッチング支援」を始め、オンライン就業相談、「森林の仕事ミニガイダンス」（林業祭併催）、電話・メール・訪問による相談、磐城林業協同組合からの委託募集、林業就業支援講習、「森林の仕事ガイダンス」（全国森林組合連合会主催）等の幅広い業務をおして、日々就業支援に取り組んでいるところです。

なお、採用された作業員は、緑の雇用研修制度を活用するなどして、キャリア形成を行っています。

管内区分	新規採用者数		左の内訳			
	H29	R 4	森林組合		民間林業事業体等	
			H29	R 4	H29	R 4
県北	2	16	(100%) 2	(44%) 7	(0%) 0	(56%) 9
県中	31	27	(23%) 7	(56%) 15	(77%) 24	(44%) 12
県南	24	12	(17%) 4	(8%) 1	(83%) 20	(92%) 11
会津	23	15	(26%) 6	(33%) 5	(74%) 17	(67%) 10
南会津	1	6	(0%) 0	(83%) 5	(100%) 1	(17%) 1
相双	12	12	(25%) 3	(25%) 3	(75%) 9	(75%) 9
いわき	11	9	(9%) 1	(11%) 1	(91%) 10	(89%) 8
計	104	97	(22%) 23	(38%) 37	(78%) 81	(62%) 60

注 ()書きは組織区分別の占有率

令和4年度「緑の雇用」事業について

「緑の雇用」事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業者（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。研修年次に応じて研修の内容をステップアップさせ、さまざまな技能を身につけられるよう体系的な研修プログラムが用意されています。

「緑の雇用」事業の体系

時期	集合研修	実地(OJT)研修
トライアル雇用	林業就業希望者が、仕事や職場にあつてはか試す3ヶ月間の就業。(本格就業前)	
本格採用前	実施しません	(最大3ヶ月) (上限60日)
林業作業士（フォロワー）研修		
新しく林業の仕事をはじめた方対象。OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。		
1年目	28日程度の座学と実習 林業作業の基本 【研修中に取得する安全講習等】 ・刈払機取扱作業者 ・伐木等の業務(チェーンソー作業) ・玉掛け技能講習 など	(最大8ヶ月) (上限140日)
2年目	29日程度の座学と実習 1年目の内容の確認・応用 【研修中に取得する安全講習等】 ・不整地運搬車運転技能講習 ・荷役運搬機械によるはし作業従事者 ・機械集材装置の運転業務 など	(最大8ヶ月) (上限140日)
3年目	21日程度の座学と実習 基礎力の向上・ 大型機械を使用した林業作業 【研修中に取得する安全講習等】 ・簡易架線集材装置の運転業務 ・伐木等機械の業務	(最大8ヶ月) (上限140日)
現場管理責任者（フォロワーリーダー）研修		
作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方対象。判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。		
5年以上	16日程度の座学と実習 【研修中に取得する安全講習等】 ・造林作業の作業指揮者 ・はし作業主任者 ・地山掘削及び土止め支保工作業主任	実施しません
総括現場管理責任者（フォロスマネージャー）研修		
複数班の総括など現場全体の管理責任能力を身につけた方対象。コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の総括責任を担える能力を身につけます。		
10年以上	10日程度の座学と実習 【研修中に取得する安全講習等】 ・安全推進者養成講習	実施しません

参考：「緑の雇用」総合ウェブサイト
「緑の雇用」RINGYOU.NET

令和4年度方部別「緑の雇用」研修生数等集計

区分	会津	中通り	浜通り	計
1年生	2	14	8	24
2年生	4	7	5	16
3年生	1	12	7	20
リーダー	7	18	6	31
計	14	51	26	91
事業者数	9	21	14	44

令和4年6月時点

「緑の雇用」研修生になるには

「緑の雇用」研修生になるには、県の認定を受けた林業事業者体に雇用されていることが条件となります（15頁参照）。研修生は、経験年数や取得している資格等により、次の3つに分けられます。

フォレストワーカー(以下、FW)研修生

林業就業経験2年未満で、林業に必要な技能を身につける必要がある方

フォレストリーダー(以下、FL)研修生

林業の就業経験が通算5年以上で、FW集合研修で受講する安全講習等の2分の1以上を修了している方

フォレストマネージャー(以下、FM)研修生

林業の就業経験が通算10年以上で、FW研修とFL研修で受講する安全講習等の2分の1以上を修了している方

さらに、FW・FL・FM研修生ともに、研修修了後5年以上就業できる年齢である方（概ね60歳未満）、林業就業に必要な健康状態である方が対象となります。

「集合研修」とは

年次別に研修生が集まり、林業に関する基礎～応用知識習得のための座学や造林・育林・間伐・機械操作・メンテナンス作業等の実践実習、資格取得のための講習等を行うもので、内容は多岐にわたります。（左表参照）

FW、FLの集合研修は、労働力確保支援センターが企画運営を行い、研修生の状況は左下の表のとおりです。FMの集合研修は、全国森林組合連合会が実施します。

「実地（OJT）研修」とは

実地（OJT）研修は、雇用された事業者において選任された「指導員」の管理・指導のもと研修を行い、本人の技術の習得度に応じて適切なスキルアップができるよう指導します。

指導体制は、「指導員」が研修場所に配置され、研修生の作業状況を確認できる位置にすることが条件となります。「指導員」の資格が認められるのは、FL研修及びFM研修の修了者のみです。

研修期間中は、適正に実施されているか確認するため、監督・検査や安全指導等が行われます。



書類等確認検査



実地での確認検査



安全指導員と共に確認

令和4年度「緑の雇用」集合研修の実施

「緑の雇用」事業では、林業のキャリアアップを支援するため、新規就業者向けのフォレストワーカー研修に加え、林業就業経験が5年・10年クラスの現場管理責任者を育成するフォレストリーダー研修・フォレストマネージャー研修を行います。

今年度、当センターではフォレストワーカー及びフォレストリーダーの集合研修の企画運営を行いました。

(1) 林業作業士（フォレストワーカー）研修

新しく林業の仕事を始めた方を対象に行うもので、OJT研修や集合研修を通じて基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけるための研修です。

1年目集合研修【林業作業の基本】

1年目研修は、林業作業の基本となる内容を中心に講義・実習を行いました。

- 研修期間：令和4年6月1日～10月20日（補講は除く）の27日間（既取得科目により異なる）
- 修了者数：21名
- 取得可能な安全講習等：刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育、伐木等の業務にかかる特別教育、玉掛け技能講習、小型移動式クレーン技能講習、普通救命講習



造林作業の実習



チェーンソー・刈払機のメンテナンス実習



チェーンソー作業の実習



手工具のメンテナンス実習

2年目集合研修【1年目の内容の確認・応用】

2年目研修は、主に1年目に行った内容のフォローアップを行うもので、造林や育林、チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業の応用、また、かかり木等処理の研修などを行いました。

- 研修期間：令和4年6月1日～11月10日（補講は除く）の24日間（既取得科目により異なる）
- 修了者数：16名
- 取得可能な安全講習等：走行集材機械特別教育、機械集材装置の運転に係る特別教育、車両系建設機械運転技能講習、不整地運搬車運転技能講習、荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育



研修初日 自己紹介を兼ねたグループワーク



GPS測量の実習



利用間伐・造材・集材の実習



研修最終日の集合写真

3年目集合研修【基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業】

3年目の研修は、1年目・2年目で学んだ林業作業の基本力の向上を目指す内容で、高性能林業機械による作業実習やメンテナンス実習、木材市場・加工施設の見学や森林作業道作設の研修等を行いました。

- 研修期間：令和4年6月2日～12月2日（補講は除く）の19日間（既取得科目により異なる）
- 修了者数：18名
- 取得可能な安全講習等：伐木等機械の運転業務に係る特別教育、簡易架線集材装置等の運転業務に係る特別教育



フォワーダの走行・集材実習

プロセッサによる造材実習

スイングヤーダの策張り実習

高性能林業機械メンテナンス実習



木材市場の見学



集材材工場の見学・説明



森林作業道作設実習



最終日の集合写真

(2) 現場管理責任者（フォレストリーダー）研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方を対象に行うもので、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけるための研修です。

フォレストリーダー（FL）集合研修

FL研修は、林業の就業経験が5年以上の方を対象に行われるため、林業に対する基本的知識・技能を習得していることを前提に、研修内容はFW研修の内容の復習・高度化が主体となっています。

- 研修期間：令和4年7月1日～8月31日の16日間（既取得資格により異なる）
- 修了者数：31名
- 取得可能な安全講習等：造林作業の作業指揮者等に対する安全衛生教育、はい作業主任者技能講習、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習



OJT指導法の講義



森林整備実習



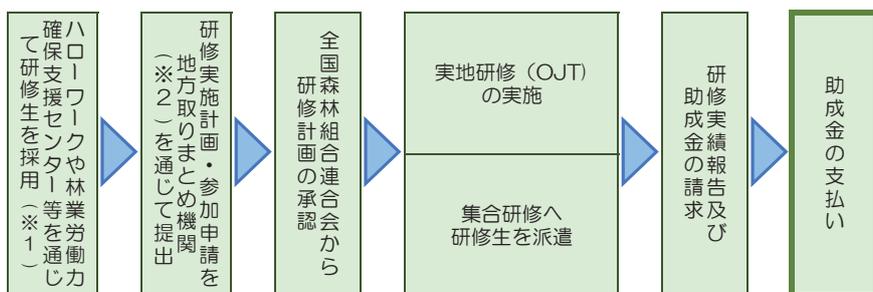
森林作業道の講義



再造林の講義

(3) 申請から支給までの流れ（全国森林組合連合会「緑の雇用」事業リーフレットより）

認定事業体の方が「緑の雇用」事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請手続きを行う必要があります。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



- ※1 トライアル雇用とフォレストワーカー研修（1年目）（トライアル雇用から引き続きの場合を除く）のみ
- ※2 本県では福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが該当します。

●●●指導員について●●●
 実地研修(OJT)を統括的に管理・指導するため、各事業体で指導員を選任の上、研修指導を行います。

○○○指導員の資格○○○
 下記の①または②に該当する方となります
 ①フォレストリーダー(FL)研修の修了者
 ②フォレストマネージャー(FM)研修の修了者



林業就業支援講習(12日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、令和5年1月17日(火)から2月1日(水)までの土日を除く12日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方を対象に、森林や林業に関する基本的な知識等の講義や刈払機・チェーンソー・小型車両系建設機械(3t未満)の資格取得、林業事業者での林業作業実地講習、木材市場・木材加工施設の見学等のカリキュラムを行いました。

東北地方では唯一の開催地となった福島県での受講者は、県内及び青森県・新潟県からの5名(女性1名、男性4名)となりました。

1日目・2日目 南東北総合卸センター(郡山市)

初日は、開講式・オリエンテーションに引き続き、当センター職員による林業の基礎知識の講義及び林材業労災防止協会福島県支部による林業労働安全対策の講義を行いました。

2日目は、林業の基礎知識の講義と、日本赤十字社福島県支部による救急法の基礎講習を行いました。



受講の様子



救急法基礎講習の受講

3日目から7日目 本宮・田村自動車学校建機講習所(本宮市)

本宮市の本宮・田村自動車学校建機講習所にて、伐木等業務(チェーンソー)・刈払機・小型車両系建設機械(3t未満)の講習を受講しました。



受講の様子(一般参加者含む)



チェーンソー講習



小型車両系(3t未満)講習

8日目から11日目 ふくしま中央森林組合石川事業所(石川郡石川町)

ふくしま中央森林組合石川事業所にご協力いただき、林業の実地研修を行いました。組合職員の方に講師を依頼し、測量調査や造林、育林、間伐、高性能林業機械による作業、作業道作設など、多岐にわたる林業の仕事について、作業体験も交えながら体系的に教えていただきました。



受講の様子



測量調査の体験



高性能林業機械による作業見学



作業道作設現場の見学

12日目(最終日) 南東北総合卸センター(郡山市)ほか

郡山市の「郡山地区木材製材協同組合」「株式会社オノツカ集成材工場」にて施設見学を行った後、卸センターにて田村森林組合坪井課長による講話、同組合大和田貴之氏と当センター職員による林業への進路指導と林業就業者への質問相談、修了証の交付を行いました。参加者へのアンケートでは、林業を学び体験し、充実した12日間を過ごせたと感想をいただきました。



製材市場の見学



集成材工場の見学



就業体験談と就業相談



修了証の交付

雇用管理研修会・雇用管理改善相談会を開催

令和5年2月10日(金)午後1時より、郡山市のビッグパレットふくしまプレゼンテーションルームにて「雇用管理研修会」及び「雇用管理改善相談会」を開催しました。

この研修会と相談会は、全国森林組合連合会の委託を受け実施している林業就業支援事業により、林業事業体の雇用管理の改善を進め、林業の就業促進と職場定着を促進することにより、林業労働力の育成・確保を図ることを目的に開催します。

(1) 雇用管理研修会

第一部の講師として、厚生労働省福島労働局職業安定部職業対策課の中田裕之氏を迎えて、「最近の雇用失業情勢・雇用関係助成金等について」と題してご講演いただきました。

福島県内の雇用失業情勢や今後の見通し、林業における雇用失業情勢について資料に沿って解説いただいたのち、雇用の定着や新たな技能取得に向けた研修等のため活用できる雇用・労働分野の助成金についてご案内いただきました。また、林業労働者を取り巻く環境として、雇用条件等の改善は徐々に進みつつあるものの、定着率や災害発生率などについて課題を残しているとの説明がありました。



支援センター事務局長の挨拶



第一部 講演の様子



第一部 講師の中田裕之氏

第二部の講師として、特定社会保険労務士・労働安全コンサルタント・中小企業診断士「田部事務所」所長の田部良夫氏を迎えて、「若者が定着できる林業へ」と題してご講演いただきました。人材確保、とりわけ若年労働者の人材確保については業種を問わず課題となっており、若い労働者が仕事を続けるうえで何を重視し、どのような環境を望む傾向にあるのか等について資料をもとにご説明いただくとともに、具体的にどのような点について改善を図っていけば良いかを分かりやすく解説いただきました。



第二部 講師の田部良夫氏



第二部 講演の様子



会場全景 あいにくの雪の中たくさんの方にご参加いただきました。

(2) 雇用管理改善相談会

「雇用管理研修会」の終了後、事前に申し込みのあった事業体を対象に「雇用管理改善相談会」を実施しました。

それぞれの事業体が抱える雇用管理に関する悩みや困りごとについて、特定社会保険労務士の田部良夫氏及び林業支援アドバイザー2名の計3名を交えて、それぞれ20分程度の相談会を行いました。



相談会の様子(その1)



相談会の様子(その2)



相談会の様子(その3)

支援センターでは、今後も雇用管理改善に向けた支援や情報提供等を行ってまいりますので、ご相談等がございましたらお気軽にお問合せください。

林業アカデミーふくしま短期研修講座の実施

福島県では、森林の再生や林業の成長産業化の実現に向けて、これからの林業を担う人材を育成するため、令和3年4月より短期研修講座を開講しました。

支援センターでは、県から業務受託して以下の講座を実施し、市町村職員や林業事業者の技術向上に取り組ましました。

(1) 路網整備と作業システム(基礎)講座(2日間)

令和4年5月19日(木)から20日(金)の2日間、福島県林業研究センター研修本館(郡山市)を会場に林業アカデミーふくしま短期研修講座「路網整備と作業システム(基礎)」を実施しました。

この講座は、路網整備と作業システムに関する基礎的な知識と技術を学び、地域における効率的な施業方法を指導できる職員を育成することを目的に行うもので、講師として一般社団法人フォレスト・サーベイの大山友之氏を迎え、今年度の受講者は18名となりました。

基礎講座では、路網整備の必要性や路網設計の基本的な考え方、路網の作設方法及び施工管理、効率的な作業システムの事例、路網整備に役立つICT技術等についての座学が行われ、2日目の午後には生産性の把握と算出に関する演習も行われました。

受講者へのアンケートでは、「参考になった」との回答が7割を超え、「路網整備の必要性について基本的な考え方を再認識できた」「基礎から最新情報まで知ることができて良かった」「丈夫な作業道の作り方について、動画を見ながらの講義が参考になった」等、多くの感想をいただきました。



大山講師による講義



受講風景

(2) 路網整備と作業システム(実践)講座(4日間)

令和4年12月13日(火)から16日(金)の4日間、いわき市の田人ふれあい館(田人公民館)及び有限会社豊田林業作業地を会場に、林業アカデミーふくしま短期研修講座「路網整備と作業システム(実践)」を実施しました。

この講座は、現地に適合した路網整備と作業システムの構築に必要な知識と技術を学び、素材生産性の向上に向けた指導ができる技術者を養成することを目的に行うもので、講師として、一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏と、有限会社田部林業の田部博之氏を迎えて実施しました。

実践講座は、応用土工を中心とした内容ですが、2日目は一部内容を変更し、今回の研修場所が軟弱地盤だったことから、過去に研修を実施した軟弱地盤の作業道作設箇所を視察した後、田部講師の指導のもと丸太組工の作設実習及び急傾斜地における転圧・締固め等を行いました。4日目午後は、座学により作業の留意点の確認や、GIS・CS立体図の資料活用方法等について理解を深め、4日間のふりかえりを行いました。

受講者は4日間真剣に研修に取り組み、アンケートへの回答でも「良かった、参考になった」との感想をいただき、実のある研修となりました。少人数での実施により、バックホウ操作や丸太組工等において詳細な指導を行うことができたことが研修の効力を高めており、研修生にも喜ばしく受け取られていることを再認識することができました。

なお、当講座は平成23年度から実施していた「森林作業道作設・フォローアップ研修」を発展させたもので、緑の雇用OJT研修における作業道作設指導には受講が不可欠ですので、積極的な参加をお願いします。



受講風景



渡邊講師による講義

◆路網整備と作業システム(実践)講座の主な内容

日程	講師	講義内容
1日目	(一社)フォレスト・サーベイ 渡邊 良範氏	森林作業道作設の基礎、手順(路線選定・応用土工等) 路線計画作成演習(作業システム等の検討)【グループ現地演習】 応用土工の検討
2日目		現地調査(踏査、路線選定等)【現地実習】
4日目午前	有限会社田部林業 田部 博之氏	森林作業道作設実習【現地実習】 (支障木伐採、基礎土工、段切方法、応用土工)
4日目午後		森林作業道作設における留意点等【グループ演習】 (残土処理、段切方法、急傾斜地における施工等)



受講風景 向かって左が田部講師



過去の研修実施箇所(丸太組工作設)の視察



丸太組工の作設実習(2段目ヨコ木固定)



バックホウを使った伐根処理

林業アカデミーふくしま
就業前長期研修にかかる

新人講師養成研修を開催

福島県の林業分野をリードする優れた担い手の育成に向け、1年間の就業前長期研修が令和4年4月に開講しました。

当協会は、林業アカデミーふくしまサポートチームの一員であることから、協会独自の森林・林業担い手育成事業の一環として、昨年度に引き続き「新人講師養成研修」を開催しました。

令和4年6月21日(火)から22日(水)の2日間、郡山市の福島県林業研究センター研修本館を会場に、県内の森林組合や事業体の職員、県職員、林業研究センター職員など計30名が参加して行われました。

当研修は、講座を実施するうえで必要な技術(プレゼン技術や研修デザイン思考法等)や指導方法等について学び、就業前長期研修生の森林作業技術習得に資することを目的に行うもので、講師として、昨年度に引き続きワイフォレストリーの横山繁樹氏を迎えて開催しました。

横山講師は、20年間の森林組合勤務を経て、人材育成を主としたワイフォレストリーを開業し、緑の雇用集合研修ほか全国各地の様々な業種で講演や組織開発支援等を行っています。



講義の様子



ワイフォレストリー 横山講師



グループごとに意見交換しながら
指導案作成の演習を行う



2日目の演習の様子(プレゼンテー
ション資料の作成)



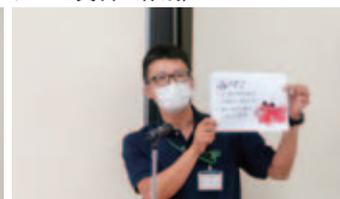
グループでのプレゼンテーショ
ンの様子①



グループでのプレゼンテーショ
ンの様子②



グループ代表による全体プレゼン
ション 推薦人のコメントも発表



グループ代表による全体プレゼ
ンテーション②

1日目の研修では、講師としての心得・考え方や、研修(講義)における到達目標と評価の方法等について講義が行われ、「研修講師とはどのような人か」「(自分が)どのような講師像を目指していくのか」「どのような目的を持って、どう研修をデザインしていくのか」といった内容について、意見交換等の演習を交えながら進められました。

また、マインドマップや16分割ノートなどの思考整理法の活用や、アイスブレイクや休憩の効果と活用について学んだ後、指導案の作成方法についてグループ演習を交えて講義が行われました。

2日目の研修では、講義(プレゼンテーション)における伝え方や受講者との対話等について理解を深めるため、設定されたテーマに対して各自が資料を作成し、5~10分程度のプレゼンテーションを行うグループ演習を行いました。さらに、研修を実施する際の留意点として、研修中の安全やリスクアセスメントについて、グループ討論を交えて講義が行われました。

横山講師の豊富な経験や知識・情報を盛り込んだ分かりやすい講義に、受講後のアンケートでは、提出いただいた全ての方から「大変良かった」「良かった」との回答をいただきました。特に、プレゼンテーション演習を含めたグループワークが参考になったとの回答が多く、「色々な人の話が聞けて良かった」「聞き手の心のつかみ方について学べた」「作業の手順等をディスカッションしながら学ぶことができ、講義へのイメージが沸いた」等の意見が寄せられました。また、研修全体の感想として「県・森林組合・事業体の職員が職種を超えて一緒にディスカッションしながら進めることがとても勉強になった。今後もこのような研修を行って欲しい」等の声が寄せられ、新たな気づきの多い充実した2日間となりました。

トピックス

〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の管轄ハローワーク以外にも募集活動地域を広げて、求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合のうち、希望する12事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、令和5年4月1日から9月30日までの期間で募集を行います。

(詳しくは、本協会のホームページに掲載します)

森林・林業担い手育成事業の実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

(1) 高校生に対する資格取得の支援

林業を学ぶ高校生を対象とした安全講習等実施の支援を行っています。林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部のご協力のもと、今年度は福島県立岩瀬農業高校と福島県立会津農林高等学校の2校で実施しました。

① 刈払機作業従事者安全衛生教育(刈払機講習会)福島県立岩瀬農業高校3年生

令和4年5月31日(火)に、3年生28名を対象に実施しました。午前中は、基本的な事項として刈払機の構造と機能、操作方法、点検整備の仕方、そして安全に作業を行うために必要な知識を学びました。午後からは、雨天により校舎内にて刈払機を装備して操作実習を行いました。アンケートには「実物を見て触れて体感できて良かった」「危険性が分かった」「家の周りを刈り払いたい」等の感想が寄せられました。



講義風景



操作実習 雨天により室内で刈払機を装備して行った

② 刈払機作業従事者安全衛生教育(刈払機講習会)福島県立会津農林高校1年生

令和4年9月9日(金)に、森林環境科の1年生4名を対象に実施しました。午前中は、基本的な事項として刈払機の構造と機能、操作方法、点検整備の仕方、そして安全に作業を行うために必要な知識を学びました。午後からは、学校の敷地内の屋外で、一人ずつ刈払機を操作しながら実習を行いました。



講義風景



屋外での操作実習

③ 伐木等の業務に係る特別教育(チェーンソー講習会)福島県立会津農林高校2年生

令和4年12月2日(金)・5日(月)・6日(火)の計3日間、森林環境科の2年生14名を対象に実施しました。1日目は室内でチェーンソー作業に関する安全衛生教育を行い、2日目は実際にチェーンソーを装備して、学校の敷地内に設置した丸太を使っての落とし切り・合わせ切り・突込み切りの3種類の切り方や、受け口切り・追い口切りの体験を、班ごとに生徒全員が行いました。3日目は、室内で安全装具の取扱方法や、ソーチェーンの目立て・毎日の点検方法等について、実習を交えて学びました。

受講後に行ったアンケートでは、特に印象に残った科目として7割を超える生徒が「チェーンソー操作の実技」を挙げ、今後やってほしいこととしておよそ半数の生徒から「現場での林業体験」「林業現場の見学」との回答がありました。また、意見・感想等も多く寄せられました。



講義風景



屋外での作業実習(その1)



屋外での作業実習(その2)



目立て・点検の作業実習

- ◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？(複数回答可)
- 伐木作業に関する知識 7名(44%)
 - チェーンソーに関する知識 6名(38%)
 - 振動障害の知識 2名(13%)
 - 実技：チェーンソーの操作 12名(75%)
 - 実技：チェーンソーの整備 6名(38%)

- ◆今後、森林・林業関係で仕事をしたいか
- はい 8名(50%)
 - いいえ 6名(38%)

- ◆今後、森林・林業関係でしてほしいことは？(複数回答可)
- 現場での作業体験 8名(50%)
 - 林業現場の見学 7名(44%)
 - 製材工場・原木市場の見学 3名(19%)
 - 地元の林業者の講話 無(0%)
 - 有名林業地の見学 2名(13%)

- ◆意見・感想等
- 今回の講習会を通して、自分の進路に対する材料が増えたと思います。
 - チェーンソーを初めて使い、最初は怖かったのですが慣れてくると楽しいと感ずることができました。
 - チェーンソーの特別教育という普通の学校では受ける機会のないことをしてとても嬉しかったです。
 - チェーンソーは初めてだったので難しかったけれど、色々勉強できて良かった。
 - とても良い。
 - 初めてチェーンソーを使ったが、思ったより難しくて驚きました。特に下から切るのが難しかったです。

(2) 森林・林業担い手セミナーを開催

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するとともに次世代のリーダーとなる人材の育成を図るため、森林・林業に関する情報を提供することを目的とした研修会等の取り組みを行っています。

コミュニケーション能力・指導力向上のための実践研修 ～横山繁樹(ワイフォレストリー)氏を迎えて～

令和4年8月24日(水)に、郡山市の福島県農業総合センター大会議室を会場に標記セミナーを開催しました。講師として前述の「新人講師養成研修」や「緑の雇用」集合研修等でも講師をお願いしているワイフォレストリーの横山繁樹氏を迎え、特に「林業アカデミーふくしま就業前長期研修」の就業体験(インターンシップ)受け入れ事業体や森林組合の班長クラスの方に向けて参加者を募り、11名での開催となりました。

セミナーはグループワークを中心に行われ、参加者はワークをとおしてコミュニケーションの基本やティーチング・コーチング技術、合意形成やイメージ共有などについて学びました。最後に、カードゲーム「アチーブス」を行い、思いやりとリーダーシップについて理解を深めました。

アンケートでは、9割を超える参加者から「参考になった」との回答があり、「業種を超えた交流が有意義であった」等の感想が寄せられました。



緑化協会 飯沼専務理事による挨拶



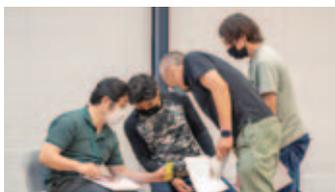
講義を行う横山講師



グループに分かれてアイスブレイクを兼ねたワークを行う



ネームツドでコミュニケーションに必要な「思いやり」と「受け止め」を考える



バナナの断面図の答え合わせ 話し合いによる同意形成と合意形成を学ぶワーク



会場全景 午後からは3グループに分かれてワークとゲームが行われた

(3) 女性に向けたイベントを開催

森林や林業に興味関心のある女性に向けて、林業をより身近に感じていただくためのイベントを、林業女子会@福島との共催を含めて年2回のペースで開催しています。

木の仕事を巡るバス旅～木造音楽ホール見学と「やまが炭」のお話、炭焼き窯と果樹木工見学～

令和4年11月5日(土)に、林業女子会@福島から情報提供をいただき、山形県南陽市のギネス認定された木造音楽ホールを備える文化会館やブランド炭「やまが炭」のお話と炭焼き窯見学、上山市の果樹木工「くだものうつわ」の店舗工房見学を行うバスツアーを行いました。



南陽市文化会館の見学 材の確保に尽力した米沢地方森林組合の川合代表から説明いただいた



文化会館職員の方にご案内いただきながら館内を見学 木の香りに癒やされた



吉野森林交流センター研修室にて「やまが炭」についてのお話を伺った



「やまが炭」を手がけた株式会社長澤燃料商社の長澤社長から製作に込めた思い等をお話いただいた



米沢地方森林組合の四柳業務課長と中條班長より炭焼き作業についてのお話を伺った



炭焼き小屋の内部 窯の中の様子も見学させていただいた



くだものうつわの鈴木代表による作業工程の説明と削り出し作業の実演



製作途中の作品、果樹により異なる色合いを組み合わせて柔らかな風合いを出している

山形の特徴を生かした施設や産業、木工品の見学を通して木材の温かみのある風合いや香り、触れ心地などを楽しみながら、「木の良さや文化を後世に残していきたい」という関係者の思いに触れ、自分たちにもなにかできることはないかと考える機会となりました。また、アンケートでは、自分たちの身近な場所にもより多くの木造施設が欲しいとの声が多く寄せられました。

見学を快く受け入れていただき、イベントに関わってくださった皆様のご協力に心より感謝いたします。

森林(もり)の仕事エリアガイダンスを開催

エリアガイダンスは、「緑の雇用」新規就業者育成推進事業として全国森林組合連合会から委託を受け、林業への就業希望者や森林・林業に興味関心のある方を広く募り、林業就業についての情報提供や仕事内容の説明などを行う就業相談会です。

ガイダンスは、令和4年11月19日(土)11時から16時まで、福島市のラコパふくしま5階多目的ホールを会場に開催しました。県内では初めて行う林業就業を目的としたガイダンスで、広く相談者を募るため、募集チラシやウェブ広告、テレビコマーシャルなど幅広い媒体を活用して周知を図りました。

今年度は、11の事業者と福島県森林組合連合会など2つの関係団体にご協力いただき相談ブースを設置し、訪れた相談者は8名、相談件数は延べ18件となりました。

事業者ごとのブースでは、相談者に対して、森林林業の情報や林業の仕事の内容、必要な資格、求人の情報、事業者のPRなどの相談対応や説明を行いました。

相談者のうち、6割を超える方が「すぐにも」「近い将来」林業に就業したいと考えており、各ブースを回り熱心に相談していました。ガイダンスをきっかけとして林業への就業を果たした方や、相談を行った事業者に作業現場見学に行くことになった方、マッチング支援に参加された方もおり、今後も就業希望者と事業者とをつなぐ相談会として定着を目指していきたいと考えています。



開始前のミーティングと会場全体の様子



ブースでの相談の様子(その1)



ブースでの相談の様子(その2)



ブースでの相談の様子(その3)

森林(もり)の仕事現場見学in福島(マッチング支援)を開催

マッチング支援は、林業就業を考えている方や森林・林業に関心を持つ方を対象として、林業の現場(作業現場・林業会社・関連施設等)の訪問・見学を行う1日コースです。

見学会は、令和4年12月10日(土)10時から15時30分まで、株式会社アメリカ屋(郡山市)にご協力いただき、同社の間伐作業地及び玉川営業所を会場に開催しました。参加者は、県内から6名、県外から1名の計7名となりました。

作業地では、(株)アメリカ屋の鈴木専務から木材生産や森林整備といった林業の仕事、間伐の必要性や間伐作業方法、自社での作業員の働き方などについて説明を受け、チェーンソー伐倒と高性能林業機械(プロセッサ)を使った玉切り作業を見学しました。

午後からは、鈴木専務の指導のもと参加者全員が実際にチェーンソーを手に取り機械の重みを体感し、怪我の事例や装備の必要性とともに安全なチェーンソーの使い方の説明を受けました。続けて行った就業相談では、鈴木専務から自社PRとして就業者の定着に向けた取り組みについて伺い、作業員の成松さんから林業を志したきっかけ、仕事の楽しさややりがい、これからの夢や希望などの林業体験を伺いました。また、当センターによる就業相談として、最新のハローワーク求人情報を提供するとともに、林業就業支援講習への参加PRを行いました。



林内で鈴木専務より間伐作業の必要性について説明を受けた



高性能林業機械による玉切り作業の見学



参加者全員がチェーンソーを手に取り重さを体感!



室内での就業相談の様子

参加された方からは、「参考になった」「林業の仕事を手で体感できる貴重な時間となった」「伐倒作業や林業機械での作業見学ができ、刺激的で感動した」等の感想が寄せられました。

森林(もり)の仕事ガイダンス(東京)に参加

全国森林組合連合会の主催による「森林(もり)の仕事ガイダンス」は、森林・林業に関心を持つ方を対象に実施する説明・相談会で、東京・大阪・福岡・名古屋の4会場で開催しました。福島県も10月の東京会場に参加し、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

東京会場のガイダンスは、令和4年10月22日(土)に東京国際フォーラムにて行われ、対面で行うリアル開催となりました。昨年より10県増となる46都道府県の林業労働力確保支援センター等が参加し、県ごとの相談ブースが設けられました。主催者発表によると、相談者数は延べ1,164名で、昨年度と同数とのこと。

本県ブースには、昨年度より1名多い22名の相談者が訪れ、本県の森林林業の情報や林業の仕事の内容、事業者の情報、ハローワーク等求人状況、緑の雇用制度・居住環境情報・移住に関する支援や、エリアガイダンスの開催などについての相談に対応しました。



本県ブースでの相談の様子

森林(もり)の仕事ミニガイダンスブースを出展

令和4年度福島県林業祭の併催行事として、森林・林業に関心を持つ方を対象に林業就業の相談を行う「森林の仕事ミニガイダンス」のブースを出展しました。

福島県林業祭は、令和4年10月22日(土)に福島県林業研究センター(郡山市)にて行われ、4年度に開講した林業アカデミーふくしまの紹介や高性能林業機械のデモ、木工クラフト等のほか、チェーンソー選手権・きのこまつりなどの併催行事が行われました。

ミニガイダンスは、9月に完成したばかりの林業アカデミーふくしま研修棟内の一室を会場として、当センターの職員が相談に対応し、福島県の森林林業の情報や林業の仕事の内容、林業事業者の情報や給与手当等、ハローワーク等求人状況や緑の雇用制度等について説明しました。



出展したブースの様子

林業雇用改善推進会議について

厚生労働省福島労働局主催の令和4年度福島県林業雇用改善推進会議が、令和4年12月2日(金)に福島市の福島合同庁舎4階会議室で開催されました。

委員は、右表のとおり。当協会は委員として出席し、会議が進められました。会議での主な発言内容は、次のとおりです。

- (1) 県全体では求人数・求職者数ともゆるやかに回復傾向であり、雇用情勢は一部に回復の動きが見られるとの判断。しかし、林業については、令和3年度の有効求人倍率が4.88、今年10月分では3.21と厳しい状況で、地域的な偏りも大きい。
- (2) 県では、林業アカデミーふくしまの就業前長期研修講座などをおして、引き続き新規就業者の確保に努めていく。来年度から辞退者がいた場合は不合格者を繰り上げて、研修生の定数を確保する考え。
- (3) 組合作業員班員数は、元年度で343人と22年度の64%に減少している。直営作業班員が減少しており、事業者や一人親方等への委託が約半数まで増加してきている。
- (4) 就職者確保が困難になっている。空調服の導入など労働環境の改善を図っているが、安定的な事業量見通しが困難なため、雇用管理改善への思い切った取り組みも難しい。
- (5) 82認定事業者の改善措置実施状況報告より、現場作業員数、保険等加入状況、新規採用者数、高性能林業機械保有状況の動向を説明。併せて、緑の雇用事業等研修生調査票により、定着状況についても説明した。林業就業支援講習の参加者募集の協力を依頼した。
- (6) 福島管内での求人数、求職者数、求人内容について資料により説明があった。
- (7) 低迷している定着率をどう上げていくのかについて等について、意見交換を行った。

令和4年度福島県林業雇用改善推進会議の出席者名簿 (敬称略)

区分	構成区分	所属	氏名
委員	学識経験者	福島県森林組合連合会代表理事専務	丹治 俊宏
	事業者代表	磐城林業協同組合緑の雇用事務局	高橋 敏明
	労働者代表	福島地域森林労連 ※欠席	齋藤 勝則
	林業労働力確保センター	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 林業労働力確保支援センター支援専門員	丹治 信博
	行政	福島県農林水産部森林計画課主任主査	伊藤 博久
	行政	福島労働局職業安定部職業対策課長	高羽 秀幸
オブザーバー	行政	福島公共職業安定所職業相談第一部門 統括職業指導官	三浦 靖弘
	事務局	行政	福島労働局職業安定部職業対策課 雇用開発係長

福島県認定事業体一覧表(流域別)

令和5年2月10日現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	1 福島県北森林組合	福島市松川町金沢字外手1-3	024-573-8992
2	2 吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町6-111	024-591-1322
3	3 (有)斎一林業	福島市小倉寺字敷ヶ森9-11	024-523-4305
4	4 (有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
5	5 安田林業(株)	安達郡大玉村大山字桐山田中40-4	0243-68-2220
6	6 浜崎製材(株)	本宮市高木字猫田46-2	0243-33-4400
7	7 郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
8	8 (株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
9	9 (株)フォレストワークス	郡山市喜久田町寺久保24-73	090-8251-7852
10	10 (有)ネイチャーリバイブ	須賀川市滝字前田40	0248-67-2856
11	11 田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
12	12 (株)ライズウッド	田村市常葉町堀田字川越16-1	0247-77-4003
13	13 (株)クライス	田村市船引町門山字追館104	0247-61-5187
14	14 (有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎内4	0248-29-8613
15	15 アブクマエコロジー(有)	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹ノ内36-6	0247-57-4111
16	16 (有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
17	17 (株)サンライフ	石川郡古殿町大字松川字陣場7-1	0247-53-4727
18	18 ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
19	19 株式会社ツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
20	20 (株)出田創業	白河市大信下小屋字宮沢144	0248-21-6560
21	21 西白河地方森林組合	白河市宇旭町1-242	0248-24-1037
22	22 (株)E・ウッド	白河市表郷番沢字大窪28-26	0248-32-4904
奥久慈流域			
23	1 東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
24	2 (有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
25	3 (有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中川前217	0247-35-2324
26	4 (株)秋山林業	東白川郡棚倉町強梨字高松平196	0247-57-8260
27	5 (有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚大字沢21-3	0247-57-5675
28	6 (有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
29	7 (株)武農林商会	東白川郡塙町上渋井字胡桃下53	0247-43-4283
30	8 真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
31	9 (有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
32	10 (株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
33	11 (有)本郷林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2401
34	12 (有)諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
35	13 明光林業(株)	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字遠ヶ竜152-2	0247-49-3683
会津流域			
36	1 会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
37	2 (有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂151-1	0242-96-1370
38	3 (株)山空林業	会津若松市日新町15-44	0242-85-6627
39	4 会津北部森林組合	喜多方市宇舞台田3128-8	0241-22-1136
40	5 (有)斎藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021

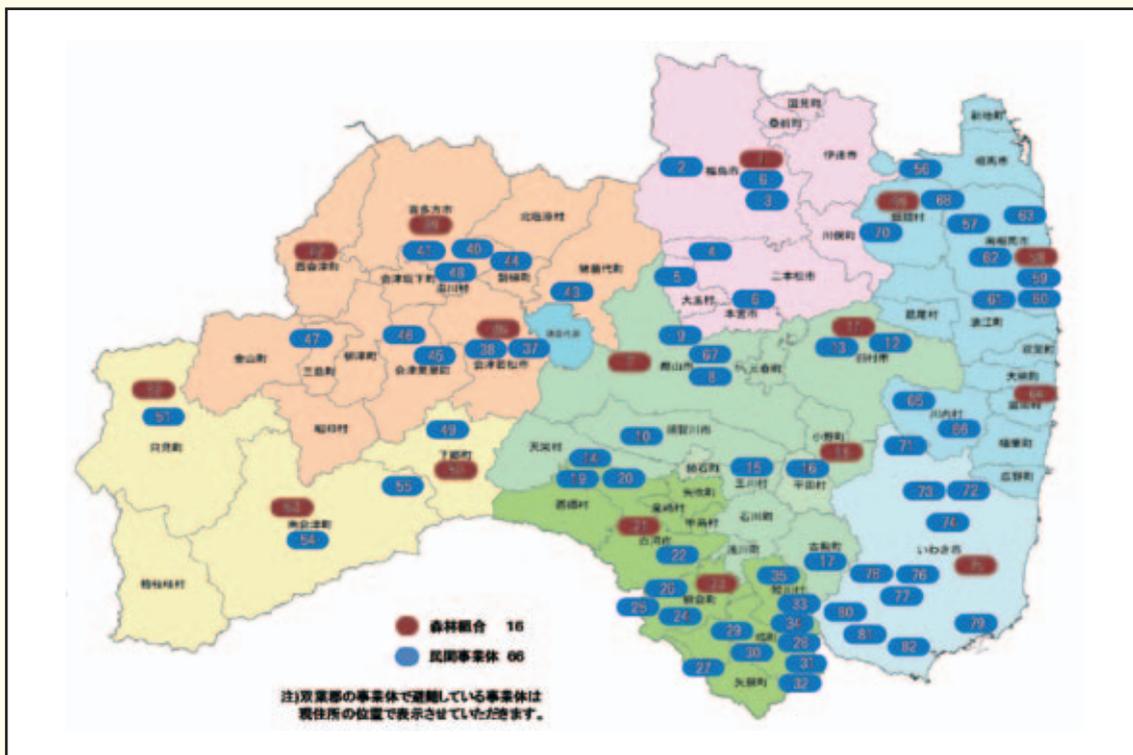
番号	事業体の名称	所在地	TEL
41	6 (株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
42	7 西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
43	8 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
44	9 環境管財(株)	耶麻郡磐梯町赤枝字堂殿152	0242-73-3920
45	10 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
46	11 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
47	12 佐久間建設工業(株)	大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平687	0241-52-3111
48	13 (株)桜林業	河沼郡湯川村佐野日宮前51-1	0241-23-6133
49	14 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
50	15 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
51	16 (株)ヤマイシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
52	17 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字田中1283-3	0241-82-3120
53	18 南会津森林組合	南会津郡南会津町田島字宮本東33-1	0241-64-5071
54	19 (株)岩若工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
55	20 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
56	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
57	2 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
58	3 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
59	4 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
60	5 中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
61	6 (株)ガイワーク東北支店	南相馬市原町区馬場字切付69	0244-32-1027
62	7 ウッズガーディアンズ(株)	南相馬市原町区信田沢字ニケ折88-11	0244-32-0333
63	8 (同)山英林業	南相馬市鹿島区小池字新山70	0244-46-3699
64	9 双葉地方森林組合	双葉郡富岡町大字小良ヶ浜字市ノ沢95-1	0240-22-1311
65	10 (株)緑樹	双葉郡川内村下川内字松川原46-4	0240-25-8806
66	11 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字上川内字緑4-9	0240-25-8484
67	12 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
68	13 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
69	14 飯館村森林組合	相馬郡飯館村白石字町310	0244-42-0055
70	15 飯館宮林(有)	相馬郡飯館村飯樋字所久保10	0244-43-2603
71	16 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
72	17 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0034
73	18 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
74	19 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
75	20 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
76	21 (株)長山	いわき市遠野町深山山田字新田62-1	0246-89-3999
77	22 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
78	23 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
79	24 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
80	25 (有)井出林業	いわき市錦町江栗1丁目83-3	0246-62-4590
81	26 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
82	27 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

【認定林業事業体とは】

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画(改善計画)」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

福島県認定事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧 (色分けは管内別)

(R 5. 2.10現在)

阿武隈川流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	福島県北森林組合	23	東白川郡森林組合	36	会津若松地方森林組合	56	松山林業(有)	71	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	24	(有)陣野林業	37	(有)佐藤林業	57	(有)国見グリーンパワーズ	72	國生興産(有)
3	(有)斎一林業	25	(有)スズキ木材	38	(株)山空林業	58	相馬地方森林組合	73	(有)中崎林業
4	(有)武田林産	26	(株)秋山林業	39	会津北部森林組合	59	千葉製材所	74	(有)松本林業
5	安田林業(株)	27	(有)田部林業	40	(有)斉藤造林	60	(有)中川木材	75	いわき市森林組合
6	浜崎製材(株)	28	(有)いしぐる	41	(株)ノーリン	61	(株)ガイアワーク東北支店	76	(株)長山
7	郡山市森林組合	29	(株)武農林商会	42	西会津町森林組合	62	ウッズガーディアンズ(株)	77	遠野興産(株)
8	(株)アメリカ屋	30	真名畑林業(有)	43	(有)六和林業	63	(同)山英林業	78	(有)平子商店
9	(株)フォレストワークス	31	(有)ウッド福生	44	環境管財(株)	64	双葉地方森林組合	79	常磐林業(株)
10	(有)ネイチャーライブ	32	(株)池田林業	45	栗城林業(株)	65	(株)緑樹	80	(有)井出林業
11	田村森林組合	33	(有)本郷林業	46	(有)川島林業	66	(有)志賀林業	81	(有)豊田林業
12	(株)ライズウッド	34	(有)諸橋林業	47	佐久間建設工業(株)	67	吉田林業(株)	82	(有)近野林業
13	(株)クライス	35	明光林業(株)	48	(株)桜林業	68	(有)ハヤマ森業		
14	(有)大須賀林業			49	(有)共和林業	69	飯館村森林組合		
15	アブクマエコロジー(有)			50	下郷町森林組合	70	飯館営林(有)		
16	(有)松崎産業			51	(株)ヤマシ				
17	(株)サンライフ			52	只見町森林組合				
18	ふくしま中央森林組合			53	南会津森林組合				
19	(株)ミツヤマグリーンプロジェクト			54	(株)館岩工務所				
20	(株)出田創業			55	山星林業(株)				
21	西白河地方森林組合								
22	(株)E・ウッド								

令和5年2月発行

発行：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 福島県林業労働力確保支援センター
 〒960-8043
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内) TEL:024-521-3270 FAX:024-521-3246
 メール:fukusien@violin.ocn.ne.jp ウェブサイト https://www.fukurin-net.jp/

